

# まちの話題

## 思いやりの心を広めよう

### 平成17年度「小さな親切」運動 山口県本部・光支部設立 25周年記念推進大会

6月25日、市民ホールで、「小さな親切」運動山口県本部・光支部設立25周年記念推進大会が、約400人の参加により開催されました。山口県本部運動功労者として、市内から榊野光子光支部副支部長に感謝状が贈呈され、続いて、市内の15団体、個人13名に「小さな親切」実行章が贈られました。

意見発表では、三井小学校4年の上村晴菜さんが「ひいおばあちゃんのがり」と、浅江中学校2年の湊谷尊さんが「人の役に立つことのすばらしさ」と題した作文を披露。親切をしたときの喜びや感動を素直に語ってくれました。



今回の「小さな親切」実行章の受章者は次のとおりです。  
(順不同、敬称略)

【団体の部】  
浅江中学校生徒会、聖光高等学校生徒会、連合山口光地域協議会、上島田小学校、三井小学校、光井小学校、医療法人至誠会梅田病院、連合婦人会、ボーイスカウト光第2団、ボーイスカウト光第3団、ガールスカウト山口県支部第17団、光青年会議所、光市シルバー人材センター、老人クラブ連合会、更生保護女性会

【個人の部】  
田原卓弥、川口雅樹、中村郷吾、小田達朗、安池大輝、仲小路さゆり、三好由華、山本恵、久田茜、花本仁奈、永井弥紅、太田美代、田村王枝

## 子育てを地域住民で支える

### ファミリー・サポート・センター事業の開始式

7月1日、ひかりファミリー・サポート・センター（総合福祉センター内）で、「光市ファミリー・サポート・センター事業」の開始式を行いました。

この事業は、地域での子育て支援機能を強化し、育児と仕事が両立できる環境の整備を目指していきます。育児の援助を受けたい人「依頼会員」と育児の援助を行いたい人「協力会員」が会員となり、地域で子育てを支え合う相互援助活動を行う会員組織です。

式では、末岡市長と協力を代表して吉原久次さんの2人が手作りの看板を序幕。続いて、吉原さんが「子どもと子育てにやさしい輪のまち光を目指して活動していきたい。」と決意を述べました。



## 明るい社会を築こう

### 「第55回社会を明るくする運動」 街頭啓発

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です。7月1日、市と保護司会、更生保護女性会、人権擁護委員、青少年健全育成市民会議、公民館関係者などが連携し、市内の14か所で、「第55回社会を明るくする運動」の街頭啓発を行いました。

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

啓発活動には、高校生も参加。買い物に訪れた人々にうちわや青い羽根を配り、運動を呼び掛けました。



## 地元の食材

### 味わって考える

#### 出前講座 食べて考えよう『地産地消』

6月25日、JAふれあいセンター（室積伊保木）で「食べて考えよう『地産地消』」を開催しました。これは、新鮮な旬の地産地消の調理し、味わうことにより、「地産地消」の認識を深めようというもので、受講者は伊保木公民館男性料理教室の9名。調理実習では光漁協女性部、講義では光漁協の柳本参事が講師を務めました。

まずは、本格的な魚料理に挑戦。八毛やタイも見事にさばかれ、次々と新鮮な魚がテーブルを飾りました。続いて、試食を兼ねた講義が行われ、養殖タイと天然タイの食べ比べや旬の地魚の説明などを受けました。



## つくって楽しいな

### つくってみよう！

#### あそんでみよう！ ワークショップ人形作り

7月3日、勤労者総合福祉センターで国民文化祭協賛特別企画の「つくってみよう！あそんでみよう！ワークショップ人形作り」が行われました。当日は、悪天候にもかかわらず、親子連れなど35名が参加。大人も子どもも夢中になって、思い思いにビニール袋人形とウレタン人形を作成。身近にある素材が見る見るうちに個性あふれる人形へと変わっていききました。

平成18年には、山口県で国民文化祭が開催され、光市では、「光の海」と人形たちが輝きます。話しかけます。きつとあなたに！」をテーマに「ひかり全国人形劇フェスティバル」を開催します。

## 市民特派員の

松永直美さん  
(岩狩1丁目)

## まちがどしレポート

今回から「市民特派員のまちがどしレポート」というコーナーを設けました。これから4回、市民特派員さんが、地域の身近な話題や出来事などをレポートしていきます。

## チームワークで勝利！

### 三井のドッジボールチームが 山口県大会で優勝

「ドッジボール」と聞くと、子どもの頃、校庭で遊んだことを思い出す人が多いのではないだろうか。そのドッジボールをスポーツ競技として行っている市内唯一の小学生チームを紹介いたします。



M・D・KIDSのメンバー

三井小学校の児童を中心に男女混合で構成されている「M・D・KIDS」。山口県ドッジボール協会公認のチームで、6年前に結成されました。県内ではチームが少ないため、練習試合をするのにも、遠征を余儀なくされています。

試合は、12人1組で5分間戦い、内野に残った人数で勝敗が決まります。集中力と瞬発力、判断力が必要のため、みんな日ごろから厳しい練習に励んでいます。

7月3日に行われた全日本選手権山口県大会では見事優勝。8月20日、大阪で行われる全国大会に出場です。全国大会では、これまで以上に集中し、100%の力を出せるよう頑張ってくださいね。